

少数台数のリコール届出の公表について（平成27年10月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成27年10月は9件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月2日	3648	車名：ニッサンディーゼル 型式：FJ552LN 他 通称名：-	46	平成9年11月26日～ 平成20年9月23日
不具合の部位等	消防車（はしご車）の緩衝装置において、後軸トルクロッド取付ブラケットとフレーム下面の溶接が不適切なため、制動時の入力の際の繰り返しで溶接部に亀裂が生じることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、トルクロッド取付ブラケットの溶接部が剥がれ走行不能になるおそれがある。			

2. 届出者：株式会社アイチコーポレーション

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月9日	3656	車名：日野 他 型式：TKG-XZU600E 他 通称名：日野デュトロ 他	24	平成27年7月29日～ 平成27年8月31日
不具合の部位等	高所作業車及び穴掘建柱車の突入防止装置において、車両の設計が不適切なため、当該装置が未装着、または大きさが不足している。そのため、保安基準に適合しない。			

3. 届出者：ヤマハ発動機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月9日	3660	車名：ヤマハ 型式：JBK-RG10J 他 通称名：MT250 他	58	平成27年6月28日～ 平成27年9月23日
不具合の部位等	ハンドル周辺部品の外観不具合の修正作業において、ハンドルホルダーの再組付け作業が不適切なため、ボルトの締付けトルクが不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ボルトが緩み、最悪の場合、ハンドルが確実に固定されなくなるおそれがある。			

4. 届出者：HONDA CANADA INC.

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月1日	外2241	車名：ホンダカナダ 型式：LA-RL1 他 通称名：ラグレイト 他	2	平成13年10月31日～ 平成17年1月18日
不具合の部位等	特定の運転者席側SRSエアバッグのインフレーター（膨張装置）において、エアバッグ展開時にインフレーター内圧で容器が破損して構成部品が飛散し、乗員が負傷するおそれがある。			

5. 届出者：HONDA AUTOMOBILE (THAILAND) CO., LTD.

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月1日	外2242	車名：ホンダ 型式：LA-GD8 他 通称名：フィットアリア	6	平成14年11月29日
不具合の部位等	助手席用エアバッグのインフレーター（膨張装置）において、ガス発生剤の成型工程が不適切又は成型後の吸湿防止装置が不適切なため、密度が不足したガス発生剤が組み込まれたものがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター内圧が異常上昇し、インフレーター容器が破損して飛び散り、出火したり乗員が負傷するおそれがある。			

※公表済み

6. 届出者：HONDA AUTOMOBILE (THAILAND) CO., LTD.

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月1日	外2243	車名：ホンダ 型式：LA-GD8 他 通称名：フィットアリア	6	平成14年11月29日
不具合の部位等	運転者席側SRSエアバッグのインフレーター（膨張装置）において、インフレーター製造時におけるガス発生剤充填後の吸湿管理が不適切なため、使用過程での外気温等の影響によりガス発生剤が膨張し、密度が低下するものがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター内圧が異常上昇し、インフレーター容器が破損して飛び散り、乗員が負傷するおそれがある。			

※公表済み

7. 届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月15日	外2240	車名：シボレー 型式：不明 通称名：キャプティバ	22	平成25年9月29日～ 平成25年10月31日
不具合の部位等	燃料ポンプを制御するコントロールモジュールの基板において、製造が不適切なため、基板に異物が付着しているものがある。そのため、回路がショートして、警告灯が点灯し、最悪の場合、燃料の流量を制御できなくなり、走行中にエンジンが停止するおそれがある。			

8. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月15日	外2251	車名：メルセデス・ベンツ 型式：LDA-212001C 通称名：E220 BlueTEC	1	平成27年1月21日
不具合の部位等	エンジンのタイミングチェーンテンションにおいて、シーリング・リングの材質が不適切なため、エンジンオイルが漏れるおそれがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、警告灯が点灯し、エンジンが損傷するほか、最悪の場合、漏れたエンジンオイルから火災に至るおそれがある。			

9. 届出者：株式会社タダノ

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月16日	外2248	車名：FAUN 型式：不明 通称名：RTF600-7	23	平成23年3月12日～ 平成27年9月4日
不具合の部位等	クレーン用台車の一酸化炭素等発散防止装置において、DPF（粒子状物質除去フィルタ）に軽油を送るホースの耐オゾン性が不足している。そのため、当該ホースが早期に劣化して亀裂が生じ、燃料が漏れ、DPFへの燃料供給ができず、堆積したススの燃焼ができなくなる。			

【参考】

●平成27年10月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	18件 (- 4)	15件 (- 1)	3件 (- 3)
輸入車	17件 (+ 2)	11件 (+ 2)	6件 (± 0)
計	35件 (- 2)	26件 (+ 1)	9件 (- 3)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成27年度)

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	22(+2)	1(-10)	23(-8)	2,013,552(+865,710)	98(-39,102)	2,013,650(+826,608)
5	19(+9)	15(+4)	34(+13)	4,364,127(+4,305,411)	67,193(+61,819)	4,431,320(+4,367,230)
6	18(+4)	14(-3)	32(+1)	661,018(-1,457,264)	21,092(-26,867)	682,110(-1,484,131)
7	20(-9)	12(-1)	32(-10)	2,440,366(+2,078,452)	11,265(-22,210)	2,451,631(+2,056,242)
8	2(-14)	5(-7)	7(-21)	661(-41,143)	2,574(-17,439)	3,235(-58,582)
9	24(+11)	17(+5)	41(+16)	991,621(+63,599)	51,431(-61,759)	1,043,052(+1,840)
10	18(-4)	17(+2)	35(-2)	1,860,184(-75,831)	14,679(-43,323)	1,874,863(-119,154)
小計	123(-1)	81(-10)	204(-11)	12,331,529(+5,738,934)	168,332(-148,881)	12,499,861(+5,590,053)

※ () 内は、対前年比